山都町立潤徳小学校　学校だより

# 潤徳小伝説～永遠に～

潤徳小HP　令和６年３月４日（月）　第４５号
２次元ｺｰﾄﾞ ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

## 本物に触れる

子どもの時に本物の芸術に触れる。これは、子どもの潜在能力を引き出す大きなきっかけになります。

先週１日（金）の午前中は、町内全６年生が清和文楽館において清和文楽を鑑賞しました。保存会からの説明では、清和小学校へは合計２３回指導に行かれた（加えて多くの自主練習あり）そうです。本校で今年度取り組んだ竹ドラムも２０回を超える回数で指導に来てもらいました。２０回というのは指導回数の最低限度の目安なのかなと思いました。

例年のことですが、清和小６年生の芝居は見事です。これも本物の芸術に触れることによるものだと思います。本物だけが持つ力が、感受性の豊かな子どもの心の奥深いところに届いているのです。子どもたちには今後も可能な限り様々な本物と出会い、実際に体験するような機会を持ってほしいと思います。

## 子どもの知的好奇心を刺激する

私は、関わりのあった方に「後学のために、教えてください」と質問することが多いです。最近で言えば、歯の治療に行ったときには、患部の詳しい状況や再発防止について、取材に来た報道関係の人には、記者クラブで提供した報道資料はその後どう活用されるのか、新聞記事の著作権はどうなっているのかについて聴きましたがタメになりました。この行為は「知的好奇心」によるものです。

先日の校内研修で、県外先進校視察の報告がありました。視察した学校の算数授業では、導入から子どもたちから出た多様なつぶやきで授業が進んでいったとのことで、子どもの知的好奇心を刺激するような授業だったようです。子どもたちの素朴な質問に対して、教師や保護者が丁寧に対応することで子どもはいろんなことに興味を持ち、学ぶエネルギーに火をつけることができるのです。

## 潤徳抄Ⅱ

３月２日は私の59歳の誕生日。家族４人のグループライン「いけべＬＩＮＥ」では、誰かの誕生日には「おめでとう」メッセージがみんなから届くのが恒例である▼この日の朝、近くにできた某コーヒー店にモーニングを食べに行った。メニュー表を見てコーヒー２杯目を頼んだ場合と半額で１・５倍サイズでは、どちらがトクか頭の中で計算してみた。２杯頼んだ方が１０円トクという結論になった▼昼には、娘と孫が誕生日ケーキを持って来てくれた。ひな祭り仕様で春らしいさくら色のケーキでナカナカおいしかった。孫は食欲旺盛で、食べっぷりがイイ▼初めて町図書館から借りていた本の返済期限を超えてしまった。次の本をネット予約しようとしたら「お持ちのカードでは予約できません」とのペナルティ、当然だろう。朝一番に返却したら、その後無事に予約ができた。今回借りる本もすべて新刊。読みまくるぞ！